

「スポーツコミッションいぶすき」は、人口減少対策のひとつとして、スポーツ合宿、大会、イベントを誘致・開催することで指宿市に訪れる人を増やし、地域交流や地域経済の活性化につなげる取り組みを行っています。

三菱重工East 硬式野球部 キャンプ激励式 指宿市営野球場 キャンプ期間：2/12㊤～2/18㊤

社会人男子硬式野球部の三菱重工Eastが2/12㊤に指宿市営野球場とサンシティホールでキャンプを開始しました。翌日13日には、市や市内団体による合同激励式をサンシティホールで実施しました。指宿の特産品として本枯本節を使った「SUBスープ」や「勝武士ラーメン」などを贈呈しました。



佐伯監督ごあいさつ

持ち込まれたトレーニング機材も本格的です

トヨタ レッドテリアーズ 激励式&教室&鯉節削り体験 開間総合グラウンド キャンプ期間：2/14㊤～22㊤



14日に実施した社会人女子ソフトボールチーム「トヨタレッドテリアーズ」の合同激励式の写真です。激励品として指宿の特産品の贈呈を行いました。

17日には指宿鯉節協会の協力で鯉節削り体験を実施。19日にはオフ日にもかかわらず選手の皆さんが子どもたち向けにソフトボール教室を開催してくださいました。

スポーツコミッションいぶすきが東京オリンピック女子ソフトボール金メダリストの後藤希友選手に独占インタビュー。指宿のこと、グローブのこと、必見の内容です。ぜひ以下の2次元コードからご覧ください。



鯉節削り体験編



ソフトボール教室編



後藤選手インタビュー編

YouTube動画配信中!

📍スポーツコミッションいぶすき 事務運営部 ☎️⑩1014

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会

手作り応援のぼり旗完成

今秋開催される両大会には、全国各地から多くの選手や観客が指宿を訪れます。訪れる皆さんを温かいおもてなしの心でお迎えするため、市内の小・中・高等学校、養護学校の皆さんに、各都道府県「手作り応援のぼり旗」の制作をしていただき、PR活動を行っています。担当する都道府県の有名な人物や食べ物イラスト、方言を使った応援メッセージなど、個性豊かですてきなのぼり旗が完成しました。



手作り応援のぼり旗は、令和2年にも制作をお願いしており、これまで開催前イベントなどで活用しながら、市実行委員会で大切に保管しています。両大会期間中は、今回制作分と一緒に各競技会場へ掲出し、会場を盛り上げ、選手・監督や全国各地から訪れる観客へ心のこもったおもてなしを展開します。

国内最大のスポーツの祭典を彩る手作り応援のぼり旗。皆様のご来場をお待ちしています。

📍燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会指宿市実行委員会事務局 (ふれあいプラザなのはな館スポーツ振興課内) ☎️⑩1014



市実行委員会 ホームページ

外来生物・危険生物に注意

外来生物のうち、特に生態系や人の生命もしくは体などに被害を及ぼしたり、その恐れがあったりするのは外来生物法による「特定外来生物」に指定され、飼養・栽培・運搬・販売・輸入などが規制されています。また、6月1日㊤から「アカミミガメ」と「アメリカザリガニ」が外来生物法による「条件付特定外来生物」に指定され、基準を満たした飼養を除く販売・放流などが規制されます。

その他、市内では、在来生物のうち、猛毒などの理由で危険とされている生物も確認されています。これから暖かくなると、これらの動植物の活動が活発となることから注意してください。

アカミミガメ (条件付特定外来生物)

北中米原産で甲羅は最大でオスが20センチメートル程度、メスが28センチメートル程度です。国内にいるアカミミガメのほとんどは亜種のミシシippアカミミガメであり、目の後ろに赤い模様があります。

在来のカメ類と日光浴の場所や食物などを巡って競合し、影響を及ぼしています。また、雑食性であるため、在来生物の環境に大きな影響を与える恐れがあります。



アメリカザリガニ (条件付特定外来生物)

北中米原産で、全長は通常10センチメートル程度です。成長するにつれて体が赤みを帯びていきます。

日本全国に広く定着しており、水生植物を消失させたり水生昆虫の局所的な絶滅を引き起こしています。また、菌を保有しているため、在来の甲殻類に大きな影響を与える恐れがあります。



ハイロゴケグモ (特定外来生物)

亜熱帯地方原産で、メスの体長は1センチメートル程度で、オスはメスの半分ほどの大きさです。体の色は茶・黒・灰色などさまざまですが、共通しておなか側に赤い模様があります。卵が入った袋は白色で、コンパイトーのような形をしています。日当たりの良い暖かい場所を好み、地面や人工物のくぼみや穴・裏側・隙間にいることが多く、プランターの底、室外機の裏、ガードレールの空間部分などで発見されています。メスのみが毒を持っており、かまれた場合、脱力や頭痛、筋肉痛などの症状が出ます。

駆除する場合は、決して素手で触らずに、殺虫剤をかけるか靴で踏み潰すなどして駆除してください。



オオキンケイギク (特定外来生物)

北米原産で5月～7月頃に開花します。高さは30～70センチメートル程度で、花は鮮やかな黄色でコスモスに似ており、道端や河原などでよく見かけます。繁殖力が非常に強いため、在来の野草を駆逐してしまう性質を持っています。

駆除する場合は、種子を落とさないように根から抜き、天日干しや袋に入れるなどして枯らしてから処分してください。



ヒョウモンダコ (危険生物)

日本からオーストラリアにかけて分布し、浅い岩場や砂の海岸に生息しています。体長は10センチメートル程度と小型で、普段は体の色を岩や海藻に合わせ擬態していますが、興奮すると体中に青色の斑紋が現れます。

テトロドトキシンというフグ類と同じ神経毒を持ち、かまれた場合、呼吸まひやしびれ、言語障害、急激な脱力感や嘔吐などの症状を引き起こすため危険です。もし見かけても、決して触らず、近づかないようにしてください。

万が一かまれた場合は、すぐに病院で手当を受けてください。



カダヤシ (特定外来生物)

北アメリカ原産でメスの体長は5センチメートル程度で、オスは3センチメートル程度です。姿形はメダカによく似ていますが、メダカに比べて体色が青く、尾びれが丸いのが見分けるポイントです。水の汚れに強く繁殖力も強いので、メダカなどを駆逐する恐れがあります。

特定外来生物に指定されているため、メダカと間違えて持って帰らないようにしてください。



📍環境政策課環境政策係 ☎️⑩2111内 243

知ってハッピーなキャンプ

定期シリーズ